

Handsome

2005年度スローガン

創生

夢を持って挑めば、必ず実現する

テーマ

成功より成長

～すべての活動は会員の利益の為に～

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長：武海 章 編集責任者：担当副会長 水 康德 制作・編集：メディアコミュニケーション委員会：委員長 河津慎二 印刷：東京印刷株式会社

10月例会 OB交流会開催！

OB会員、中央会魂蘇る！



平成17年10月17日(月)「米子全日空ホテル」において、ビジネス交流委員会担当の10月例会OB交流会が開催された。この日は例会とOB交流会をいっしょに開催するという西部青年中央会初の試みである。

OB会員もまじえた「綱領唱和」では、現役当時を懐かしんだか、OB会員の方々の表情が輝いて見えた。

冒頭で武海会長は「共に学び、共に語り、懇親会ではおおいに飲みましょう」と挨拶した。

例会では鳥取県商工労働部部長山口祥義氏を講師に招き、コーディネーターに岡山会員、パネラーに第22期卒会阿部信行OB、現役会員代表中島会員で「どうする？鳥取県西部地域の経済」と題してパネルディスカッションを行った。



「鳥取県の経済はかなりやばい」という山口氏のショッキングな言葉で始まったパネルディスカッションは、鳥取県の経済状況から、阿部OB、中島会員、それぞれの立場での意見を語り合った。山口氏は「地産地消だけでなく、外から入ってきたものも受け入れ、それを活用して地元のものにしていく」「これからは全体の連携ではなく個々の企業が光る時代。魅力あるものがあるところへは、ほっとおいても人が集まる」など景気回復に向けた数々のキーワードを熱く語った。

第14期卒会中村昌哲OBの挨拶で始まったOB交流会は、OB会員と現役会員との和やかなムードが漂った。この日出席されたOB会員は約30名。久しぶりに顔を合わせる現役、OB会員同士、話が弾んだようだ。途中、壇上では、昨年11月から9月まで

懇親会で対決！

～青経連スポーツ交流会開催～

青経連とは、鳥取県西部地区青年経済団体連絡協議会の略称。鳥取県西部地区にある西部青年中央会、米子商工会議所青年部、米子JC、境港JCの4団体で構成。本年度幹事は、米子商工会議所青年部。

平成17年10月14日(金)19:00より「米子市民球場横スポーツ広場」において行われる予定であった「青経連スポーツ交流会種目・ソフトボール」は、前日まで落ち着いていた天候にも見放され、雨のため中止となり、懇親会のみが行われた。

懇親会では、米子商工会議所青年部の足立理事長より「今日はメンバーも揃え、優勝する気満々で望んだのだが、雨でその力が発揮される事なく終わってしまった事が残念で仕方がない。次回チャンスがあれば是非この無念を晴らしたい」と、挑戦状のような挨拶があり、続いて当会 武海章会長より、「その挑戦、受けて立ちます」と、乾杯の挨拶がありスタートした。懇談中には、「各団体のチーム自慢」という事で、今日ソフトボールが予定通り行わ

の新入会員11名が仕事風景やプライベート映像をまじえた自己紹介が行なわれ、会場全体から声援が送られた。新入会員は、分厚い名刺入れを持ちOB会員に挨拶をして回る姿が会場のいたるところでみられた。緊張しながら挨拶をする新入会員を、あたたかく受け入れるOB会員。ひよっとすると新人だったころの自分自身の姿をだぶらせていたのかもしれない。



中締めにあたり、第7期卒会松田一三OBがサミュエル・ウルマンの「青春」という名の詩」を現役会員に贈った。「若さとは人生のある時期のことではなく、心のあることである。若くあるた

れていたら、うちのチームはどんなに素晴らしいか、どんなに強かったか、を競い合う言論戦が行われ、挨拶の時に続き、冗談交じりの激しい攻防戦が繰り広げられた。

続いて、「マツタケ争奪！野球カルトクイズ大会」が始まった。言葉で戦った後は知識で決着をつけようと、各団体が会長のみならず会員たちを巻き込み闘いの火蓋が切って落とされたのである。「現在の西部ライオンスの前身となるチーム名は？」など、年の功(?)を競いつつも、最後に我々西部青年中央会を優勝に導いたのは、王貞治のホームラン本数を正解した辻副委員長であった。

他団体の方々と楽しく友好を深めた懇親会もあっという間で、またこういう機会があれば是非参加させて頂きたいな、と名残惜しく思いながら終了した。(記事：牧田)



左から、中央会 武海会長、米子JC都田理事長、青年部 足立理事長、境港JC 岡田理事長

めには強い意志とすぐれた闘争力、激しい情熱が必要である。人は歳月を重ねながら老いるのではない。理想を失った時に老いるのである。……(サミュエル・ウルマン「青春」という名の詩」より抜粋)

老いも、若きも「気の持ちよう」その言葉は現役会員の心に深く刻み込まれた。そして、最後は第7期卒会須山修次OBの「万歳」でお開きとなった。

今回のOB交流会はOBの方々の心に「中央会魂」蘇らせたのではないだろうか。OB・現役が語り合う声、笑い声が西部青年中央会初めての試みの「成功の証」となった。(記事：本池)

平成17年10月12日(水)「ファミリー国際プラザの3階稲盛ホール」において、米子市議会議員で米子ゴルフ場問題特別調査委員長の矢倉強氏、同副委員長 内藤清治氏の両氏をお招きして「近年の赤字経営に對して過去何年も無策だったのにも拘わらず、ここきて急展開で民間委託が決定した米子ゴルフ場問題について過去の経緯と今後の展開を議論したい」という村岡委員長の趣旨のもとに政治行政委員会のオープン委員会が開催された。

米子ゴルフ場問題に着目！

～政治行政委員会オープン委員会開催～

まず両議員より市議会で決定されたこと、概要、米子ゴルフ場の歴史、近年の経営状況などが説明された。



質問がでたが、それに対しては、今から責任を追求するのは難しいだろうという事、また、審査は市だけでなく民間の人間も含んだ人員で対応していく予定だという回答を頂いた。

全体的に今回の委員会は村岡委員長の思惑とは違い、議論というより両議員からの説明に終始してしまっただけ感じが否めないのが少し残念な気がした。(記事：濱田)

未来の中海を守るために！

～みらいづくり委員会～

中海圏域4市連絡協議会主催「中海沿岸クリーンアップ作戦」中海沿岸清掃活動報告

平成17年10月16日(日)朝8時30分より、「米子湊山公園」において行われた「中海圏域4市(米子、境港、安来、松江+東出雲町)連絡協議会共同事業『中海沿岸クリーンアップ作戦』米子地区沿岸一斉清掃へ、武海会長とみらいづくり委員会が、未来の中海を守るべく活動に参加した。



この活動は、今年11月に開催される、国際的に重要な湿地を保全する「ラムサール条約締結国会議」に登録申請する「中海・宍道湖」を、近隣市町村が連携して浄化運動を事業化している。

参加した会員は、一生懸命清掃活動に取り組み、また作業の途中から「隠れている取り難い大物(ゴミ)を如何にして獲るのか？」を目的とする狩人と化し、楽しみつつもゴミ袋いっぱい成果を挙げ、そして意気揚々と去って行った。

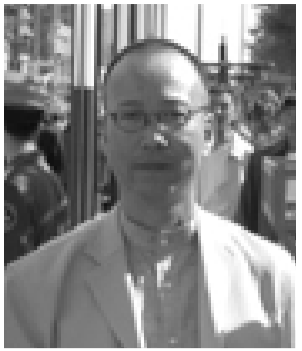


後には、晴天の中海に映える穏やかに美しい海浜が残されているだけであった。(記事：長谷川)

今期のスローガン「創生」
夢を持って挑めば、必ず実現する

あなたの夢はなんですか

釜田公文会員



自分は中央会の中でも所謂遊び人として自他共に認めるところである

。然しながら一見遊び呆けているだけに見えるその裏で、実は常に「次に何が世の中から求められるのか？」と周りをよく観察する事を心掛け、その積み重ねが自分の未来を変えていくのだ、と信じている。

仕事を一例に挙げると、今世間で騒がれているアスベスト(石綿)問題がその一つだ。今から三年前の事である。以前から問題視はしていたのだが、きつと社会問題に発展するであろうと考えて、思い切って数百万円の設備資金を投じ、準備しておいた。

その結果が今年七月に出た事は、皆さんがご存知の通りである。何を言いたいのかと問われれば、「結果がどうであれ未来は必ずやって来る」と云う事だ。この西部地域にも十年先の未来が必ずある。その頃に自分が生きているのかは定かではないが、思うにこの十年は、全国各地で所謂勝ち組・負け組の差が益々ハッキリと別れていくのではないかと見ている。中央会として、この地域に住み続けるであろう住民として、今こそ大いに語りつ時だと思っただ。十年という時間は、結構早く進む感じがする。その時「負け組」で在りたくないと思っるのは、自分だけののだろうか？

〈釜田公文を語った理由〉

今回は、今話題のアスベスト問題に世へ広まる前から取り組み、現在では西部で只一社の処理認定を持つ企業「旬クリン環境開発」代表取締役釜田公文会員にお願いしました。

氏が持つ独自の観点から作成された文面には、「夢」という文字が見当たらない様に感じるかも知れません。しかし「夢」未来像」という見方をすれば、十年先の自分を含み西部地区や中央会の未来を、具現化に向けて邁進する姿も、また多彩な姿を持つ「夢」の一つだと感じる事が出来ます。

〈記事：長谷川〉

記者が選ぶ！突撃！

気になるOB会員を訪ねて...

夏野慎介 OB



〈近況報告〉
米子信用金庫の三柳支店の支店長を務めておられます。ただ、今年の7月から新しい体制になって、三柳支店とあわせて弓ヶ浜支店の支店長も兼任されています。

仕事以外で取り組んでいることといえば、皆生トライアスロン協会副競技委員長、鳥取県サッカー協会監事、またNPO法人やまつみスポーツクラブ理事でFC鳥取の運営にも携わっておられ、少年サッカーの指導にも頑張っておられます。

「こういった活動は仕事のためにやっているわけではないんですけど、おかげで輪が広がって声をかけてもらえますよね。自分の時間は確かに窮屈になりますけど、顔をだしていけば何かの糧はなるのかな」と語られた。

〈今後の中央会はどうあるべきか？〉

「仕事に穴をあけるわけにはいかないの、優先順位をつけるのは大切なこと。ただ、「時間を作る」というのも能力ということでは身につけて欲しい。忙しいのは自分だけじゃない訳で、例えば、私が入会当時の会長なんてよほど忙しかったと思うけど、例会には6時くらいにはちゃんと受付に立っていた。時間の管理という面では驚くべきものがあつた」と語られた。

〈夏野OB会員を訪ねた理由〉

実は、お知り合いになってから1年も経たないのですが、米子西高OBということもあり、個人的にもとてもかわいがって頂いている夏野OB会員。今回の取材で若輩者であっても出会いを大切にそれを育てていく、という夏野OBの人柄にあらためて惹かれました。笑顔の素敵な三柳支店のスタッフにも惹かれます。

今日は、お忙しい中、お時間を作って頂きありがとうございます。

〈記事：松本〉

徳中志伸 OB



〈近況報告〉

中央会を卒会されて3ヶ月。徳中OBが経営する米子駅前の中華料理店大連には、現役会員、OB会員の方々がたくさん来店されると大変喜んでおられました。仕事は厳しい状況が続いているとのことですが、持ち前の元氣と明るさで頑張っておられました。

〈今後の中央会はどうあるべきか？〉

「中央会の良さは異業種交流の場がもてること。特に原点は「人と人のつながり」である事を忘れないよう活動し、一生の仲間づくりをして欲しい。そのためにはもつと自分の色をだし人間性を高めること。それがひいて言えば自己研鑽の場、仲間づくりの場となりビジネスチャンスにもつながると語られた。

「今後は広報的な事やイベント等でもいいが、対外的にもっと中央会をアピールして欲しい。そのためには会員同士の絆を高めることが必要不可欠であり、今後の中央会活動も結束力のある会に育ち進んでいくのでは」と語られた。

最後に、徳中OBは「現在、現役会員の交流はOB交流会、忘年会の2回しかない。OB会員は現役会員の交流の機会を待っている。今後はもっと交流の出来る機会を増やして欲しい」と望んでおられた。

〈徳中OB会員を訪ねた理由〉

徳中OBとは、30期人づくり委員会でお世話になりました。現役会員当時も色々なお話、思いを話していただいたが、18年間在籍された中央会を離れられ、改めて感じられたこと、見えてきたことをお伺いしたいと思つた。

また卒会して3ヶ月ということで、現役会員に近い立場からのお話も伺いたく今回の取材をお願いしました。

徳中OB会員には、お忙しい中、快くお時間をとって頂きありがとうございます。

〈記事：石川〉

中央会会員 教壇に立つ！

EM菌授業開催



平成17年10月19日(水)「八郷小学校」において、総合学習でEM菌授業が行われた。

昨年度、EM菌の勉強をされた松浦会員(当時、担当副会長)から「小学校の総合学習でEM菌を教えるけんやらんか？」と声をかけていただき、「やります！」と即答したものの、いざ子供に教えると思うと、不安いっぱい生徒の待つ八郷小学校に...

1年生の子供に、地域の川に住むメダカ、タナゴ、ヨシノボリなどを持ち込んで、「川にはこんな生き物がいるだ」ということに興味を持たせながら教える松浦先生の姿に、夜の松浦会員と今子供たちの前の魚おじさんははたして同一人物だろうか？と驚愕！



4年生の授業で内田会員に助けってもらいながらEM菌をペットボトルで培養する体験授業を環境の話の織り交ぜながら行い、やんちゃにテコスリながらも楽しそうに作業をする子供を見て、やってよかったなと感じた。

松浦会員、内田会員はもとより、小学校の先生がたに感謝。

〈記事：みらいづくり門脇委員長〉

31期卒会記念！

思い出の写真を見せてください

中津尾直子会員



この写真を見るとあの暑く、熱い夏を思い出す。平成9年8月「夢みなと博」の時の全国衛生生中継「とびっきり鳥取 夢発信！」の写真だ。一週間前のリハーサルの時、誰もが「無謀だ！」と感じた。でも、立派にやり遂げた。あの感動は今も忘れない。

県青中の動き

現在、11月19日に開催する県青中30周年記念事業(講演会・記念式典・祝賀会)に向けての準備が追い込みに入っています。昨年度行われた西部青年中央会の30周年事業は会員の皆さんの力を結集し大変盛り上がったものになりましたが、今回西中東連携による県30周年事業も大成功で終わりたいものです。特に入会年次の若い会員の皆さんは、朝(準備)から夜(2次会)までやってますので、時間の都合をつけて少しでも県行事の体験をしていただければと思います！

また、当日お手伝いのご協力をお願いしている会員の皆さん。いろいろご迷惑をおかけするかと思いますが、よろしくお願ひします！

「本物のF1マシンってどんなものかなあ(一生に一度しか見られないかも)」「県の周年事業を体験することも10年に一度の体験だし！」

みんな盛り上げていきましょう。

〈記事：植田原出向〉

10月度委員会報告

- メディアコミュニケーション委員会**
平成17年10月6日(木) 於：まつだ家 出席者/16名
議題/ハンサム、11月担当例会、中央会番組、HPについて
- みらいづくり委員会**
平成17年10月3日(水) 於：ホテルサンルート米子 出席者/9名
議題/新入会員オリエンテーションについて
- 政治行政委員会**
平成17年10月12日(水) 於：国際ファミリープラザ 出席者/11名
議題/米子ゴルフ場問題についてのオープン委員会
- ビジネス交流委員会**
平成17年10月7日(金) 於：米子全日空ホテル 出席者/13名
議題/10月担当例会について

- 司法問題研究委員会**
平成17年10月12日(水) 於：インサイト 出席者/11名
議題/裁判員制度による模擬法廷ビデオ鑑賞
 - 総務委員会**
平成17年10月5日(木) 於：ホテルサンルート米子 出席者/16名
議題/12月忘年例会について
 - ビジョン検討委員会**
平成17年10月11日(火) 於：大連 出席者/9名
議題/皆生トライアスロンに対する当会協力体制の在り方について
- ※役員会報告・連絡事項、会員拡大の件は各委員会とも行われています。
※詳細については各委員長までご参照ください。

11月役員会報告

11月定例役員会が平成17年11月1日(火)、米子食品会館にて開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。
・11月例会の件
・12月忘年例会の件
※なお、詳細については委員長までご参照ください。

11月例会案内

と き：平成17年11月15日(火) 18:30~食事 19:00~開会
ところ：ホテルサンルート米子
内 容：HPの説明、中央会番組のダイジェスト上映、三役・各委員会の中央会番組収録
担 当：メディアコミュニケーション委員会

〈「ロー」をつけて名簿にも貼るのくりかたせう〉

久保田 賢 A型 営業係長
 ㈱中井脩 時計・眼鏡・宝飾の販売業
 〒683-0804 米子市米原7-1-14
 TEL 33-5566 FAX 22-2219
 (KT) 090-8421-9228
 (EM)
 〈自宅〉〒683-0843 米子市三旗町1-16 ☎ 34-3169 S 42.01.21

〈コメント〉
この度、鳥取県西部中小企業青年中央会に入会させていただき事になりました。㈱中井脩の久保田賢と申します。中央会の活動を通じて様々な経験を積み、職場では出来ない勉強をさせて頂ければ良いなと思っております。そして、私が入会したことによって中井脩という会社が、より皆さんの身近に感じてもらえればと思っております。また、機械があればぜひ中海の浄化活動にも微力ながら参加して行きたいです。

今川 圭一 B型 取締役兼料理長
 ㈱光琳 飲食業
 〒683-0812 米子市角盤町2-105-5
 TEL 34-6788 FAX 34-6788
 (KT) 090-3174-5008
 (EM)
 〈自宅〉〒683-0805 米子市西福原3-7-16 シティメディアⅢ305 S 52.08.25

〈コメント〉
この度、10月に鳥取県西部中小企業青年中央会に入会させて頂きました。こうりん坊の今川圭一です。私は、地域経済の発展、活性化などみなさんと活動を通してお役に立てればと思入会させていただきました。しかし私の仕事は飲食業のため、会合などが週末になると参加が厳しくなると言うのが現状ではありますが、極力参加させていただくよう心がけ努力いたしますので、どうぞこうりん坊ともども今川圭一をかわいがってってください！